

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.7 平成27年8月26日発行
発行責任者：高一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



主権者は我々！

止めよう安保法案！！

あなたも、100万人の中のひとり！

8月30日は稚内に大集合！

毎週、札幌や釧路など、道内各地で街頭運動が行われています。宗谷では六月六日に道教組の街頭演説 in 稚内、六月二十八日にピースウォークわっかない主催のデモ行進、七月一日～二日は宗谷教組の管内ぐるっと街頭宣伝を行いました。それぞれ地域の方々の興味も高く感じられました。「今の国会、なんかおかしいよな」と思っていることが伝わってきます。

八月三〇日(日)、国会一〇万人・全国一〇〇万人大行動があります。日本全国で一〇〇万人が集まり、それぞれの地域で平和を訴えるという取り組みです。宗谷ではピースウォークわっかないが稚内市内で集会とアピール行動を企画しています。

宗谷教組として、この稚内での動きに結集することを呼びかけます。先日、組合員の先生から「宗谷教組は何かしないの？」という問い合わせが本部にありました。みんなで「何かしないと」と思っているだけでなく、自分の考えを表明しましょう。

二十五日夜の報道では「民主主義なので、最終的には多数決だ。論議が熟したときには

参加者総勢50名

STOP！戦争法案！ 宗谷管内ぐるっと大作戦 みなさん、ありがとう！



左上：稚内支部。天気
の悪く中集まってく
れました。

右上：利尻富士支部。
たくさんの方が集ま
ってくれました。

右：豊富支部。全分会
からの参加。管内で
一番元気に歩きました。

採決をしていただきたい」という安倍首相の言葉が報道されました。先月の衆議院本会議の様子が思い浮かんできます。こうした中で、集まった分だけ世論が動き、みんなのエネルギーになります。そして、法案を止めることにつながります。ぜひみんなで平和を守る取り組みをしましょう。



国会包囲10万人行動・全国で100万人行動に結集 8.30ピースウォークわっかない・市民集会

宗谷教組として、組合員のみなさんに、この集会への参加を呼びかけます。一緒に「戦争はイヤ」「平和がいい」と声をあげましょう！

8月30日(日)
15:30から集会、16:00頃から30分ほどアピール行動
場所 稚内総合文化センター

宗谷教組組合員のみなさんには旅費の補助を検討しています。各支部では、参加集約をお願いします。

今後の 焦点は...

いま、与党国会議員のみなさんが恐れるのは、「次の選挙で落選すること」。一方で、参議院では8人、再可決しようとしている衆議院では12人の造反(党の方針に反して、戦争法案に反対すること)があれば、戦争法案は廃案に持ち込むことができるといわれています。そこで、地元選出の国会議員に対して、抗議FAXで私たちの願いを伝える取り組みを早急に行います。

へき地複式 全道大会

会場校に お聞きしました!

第1回 礼文編①・猿払編①

9月17日・18日、宗谷管内で14年ぶりに「全道へき地複式研究大会」が行われます。

管内の8市町村の9校が授業公開を行う機会となります。会場校のみなさんは、当日に向けて授業づくりや会場校としての準備などに力合わせをしています。宗谷教組では、管内で奮闘している会場校のがんばりを取材させていただきました。宗谷複式教育研究連盟が主体となっているこの取り組みを、同じ宗谷の教職員として激励したいという願いをこめて、特集を組むことにしました。第1回は礼文と猿払の様子をご紹介します。

礼文町立 香深井小学校

香深井小学校では、昨年のプレ研を終えて6年生4名が卒業。春に1年生4名が入学してきました。最高学年の卒業・新入生の入学と、学校の実態が大きく変わる中で、今年の本大会を迎えます。そうした中で大切にしてきたことは、「個の支援」だと、研修を担当する則座先生はお話をしてくれました。

一人学びに深まりを

今年は2・3・5年生が「ひとり学級」。自分の考えを広げたり、いろんな意見に触れられたりするような授業を目指して

いるそうです。日常的にも、礼文小と香深井小の連携を意識し、両校の子どもたちが互いに学びを深めていけるような取り組みを始めているそうです。

「できました!」→「いいですね」 を超える一歩

2・3年生担任の高橋有子先生にもお話をお聞きしました。

『「今日はこの勉強をしましょう。」』『ハイ!先生、できました!』・・・というやり取りに留まらない『あれっ!?!』という気づきや葛藤、『もっとこういうふうにしてみたよ』というような工夫が生まれる授業にしていきたいと高橋先生。

1年生は八木先生。作文の授業です。小学校に入学して、ひらがなを学んだ子

どもたち。ひとりひとりの学びの軌跡を大切にしながら、担任の八木先生と、支援員さんと4名の子どもたちが学びを深めるそうです。



お話を聞かせてくれた則座先生と高橋先生



フェリーターミナルそばの町民センター「ピスカ」の前には大会告知の看板も!

猿払村 浅茅野小・芦野小の集合学習

猿払では、浜鬼志別小学校と、浅茅野小学校・芦野小学校による集合学習の公開授業が行われます。

今回は、浅茅野小学校を訪問。瀬川先生と平沼先生にお話を伺いました。

機会を大切にしたい

集合学習の学び合い

猿払では、芦野・浅茅野・浜猿払で「はまなす学校」という集合学習で、マラソンや作文発表会、水泳・スキー授業などに取り組んできたそうです。昨年度末で浜猿払小学校が閉校。2校となり、本大会を迎えるにあたっては、両校の課題を出し合

い、「コミュニケーション能力の向上」と「T Tの役割の明確化」に焦点を当てて、授業づくりを行ってきたそうです。

研究大会では体育と音楽の授業

授業公開では、中・高学年の体育の授業と、全学年による音楽を公開します。

体育の授業は「キンボール」。定番のボール運動ではないのは、「どんなふうにしたら勝てるか」という思考と、そこから生まれる伝え合う活動を想定して…とのこと。音楽の授業は1年生から6年生の全員で取り組む「音楽づくり」。合唱や器楽などという枠組みにとられない活動に挑戦。発達段階を考慮しながら、一人ひとりの力を考慮してひとつの音楽にしてい

く活動だそうです。体育のT1を担当する平沼先生は「何事も夢中で取り組む子どもたちの様子

…、話し合っって作戦を立てる姿はもちろん、夢中でキンボールに取り組む子どもたちの様子をぜひ、見てほしい」と話してくれました。養護教諭の立場から子どもたちを見守る瀬川先生は、「音楽の授業は子どもたちが楽しんでいてとても生き生きしている。指導する先生方もとってもあったかいです」と教えてくれました。



保護者のみなさんの力も!

本大会に向けて…

本大会に向けては、保護者の方も協力も。PTAとして昼食のお世話などを力発揮してくれるそうです。浅茅野小学校を訪問すると、若い先生方が元気ががんばっているエネルギーが、明るさとなって伝わってきました。

へき複大会は、子どもたちはもちろんのこと、地域の方々も含めて、日々の学校づくりを確かめる機会となるようです。



◆もうすぐ「へき複大会」。宗谷教組として、各学校に取材をお願いしました。ここ数年では初めての取り組みです。組合は、へき複大会の主催者でもなく、後援もしていません。

◆2学期がスタート。学芸会や学校祭に向かう中、学校文化が花開く頃でもありますね。それぞれの学校の「学校文化」、伝統を受け継ぎ次の世代に伝えるんだ!という子どもたちのがんばりに寄り添い応援できる、学校の先生という仕事の醍醐味を味わえる季節がやってきますね。

でも、管内のあちらこちらの学校でがんばっている先生方は、同じ宗谷で力合わせをしている先生方で、そうした先生方の授業づくりを、学校づくりを、激励できればと思っています。どの学校でも、先生方と子どもたちの素敵なエピソードを聞かせていただきました。ご協力に感謝します。(natty)